

マーケットの動き（2023年9月4日～9月8日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。原油価格上昇によるインフレ圧力への警戒感が広がったほか、8月米国ISM非製造業景況感指数が想定以上に上振れたことを受け、米ドルは147円台後半まで買われる展開となりました。

ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2023年9月）

円に対して米ドル、ユーロともに軟調に推移

米ドル：足元の円安の動きを背景に日本政府・日銀による円買い介入に対する警戒感が広がる中、米国においてインフレが鈍化し長期金利が低下との見方もあり、米ドルは円に対して軟調に推移するとみています。

ユーロ：足元の円安の動きを背景に日本政府・日銀による円買い介入に対する警戒感が広がる中、ユーロ圏においては景気に対する慎重な見方を背景に長期金利が低下するとの見方もあり、ユーロは円に対して軟調に推移するとみています。

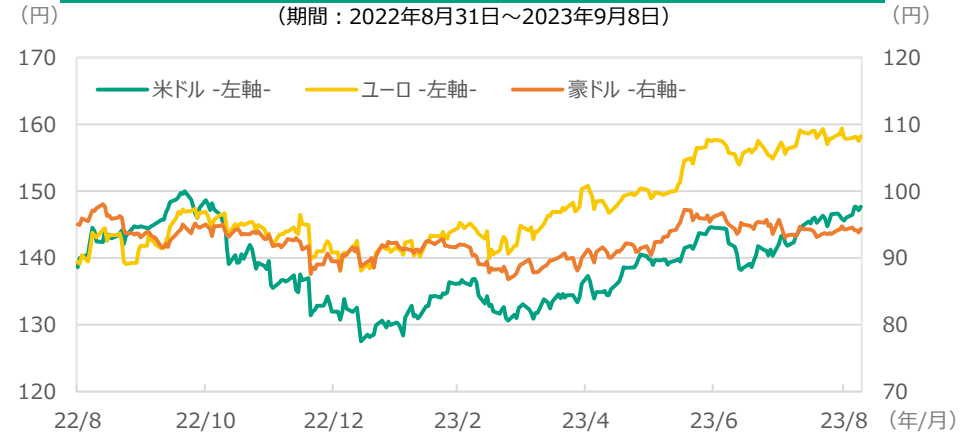
	9月8日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	147.67	1.63	4.51	10.76	3.69
ユーロ/円	158.22	0.40	1.52	13.75	14.87

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

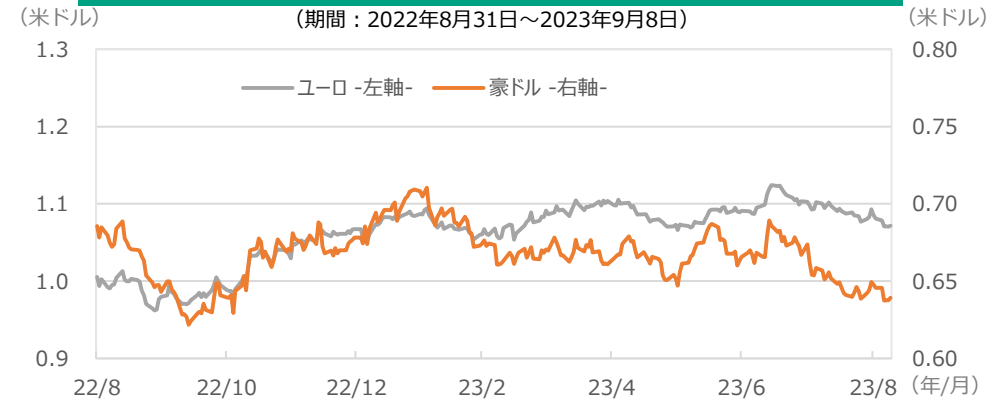
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202309_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>